

平成20年度局配分枠予算について

総合企画局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

市政を総合的に推進する観点から、①都市経営の視点に立つ政策の企画推進、②国家戦略としての京都創生の推進、③地球温暖化対策の推進、④市民参加の推進と市政情報の積極的な提供、⑤「大学のまち京都」を活かすまちづくり、⑥高度情報化の推進の6点を重点方針とし、これらを着実に実行に移すための諸事業に予算を優先的に配分した。その際、限られた配分枠予算編成にあつては、政策重点化枠予算との整合を図りながら、事業効果や社会情勢の変化に着目し、事務事業の見直しや一層の経費削減を進め、選択と集中によるメリハリの効いた予算編成を行った。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【肉付補正予算計上】

声の市民しんぶんCD版作成	2,780千円
テレビ等における「市政ニュース」への字幕挿入	3,900千円
大学のまち・わくわく京都推進計画見直し	1,660千円

<充実事業>

【肉付補正予算計上】

こどもエコライフチャレンジ推進事業の実施校拡大	全体事業費 5,700千円（うち充実分 1,700千円）
京（みやこ）のアジェンダ21推進事業 （京のアジェンダ21フォーラム事務局強化）	全体事業費 25,434千円（うち充実分 7,760千円）
情報セキュリティの更なる向上	全体事業費 76,700千円（うち充実分 17,000千円）